

今だから言える **MM** の **裏話** **—JCOMM賞の今昔から—**

パネリスト・コーディネーター

◆パネリスト：

- 東 徹 （（一社）システム科学研究所 調査研究部長）
- 神田 佑亮 （呉工業高等専門学校 教授）
- 谷口 守 （筑波大学システム情報系社会工学域 教授）
- 松村 暢彦 （愛媛大学 教授）
- 村尾 俊道 （京都府 元交通基盤整備推進監）

◆コーディネーター：

- 谷口 綾子 （筑波大学大学院 教授）

- ・平成19年の第2回JCOMMから、JCOMM賞の選定を開始。
- ・これまで、合計73件の取組みを表彰
 - マネジメント賞 16件
 - プロジェクト賞 26件
 - デザイン賞 22件
 - 技術賞 9件

・ JCOMM賞 趣旨

『国内の様々なモビリティ・マネジメントについての様々な取り組みや研究の中でも、特に優秀な取り組みや研究をJCOMM実行委員会として選定し、その実現に貢献した個人あるいは団体を表彰する。

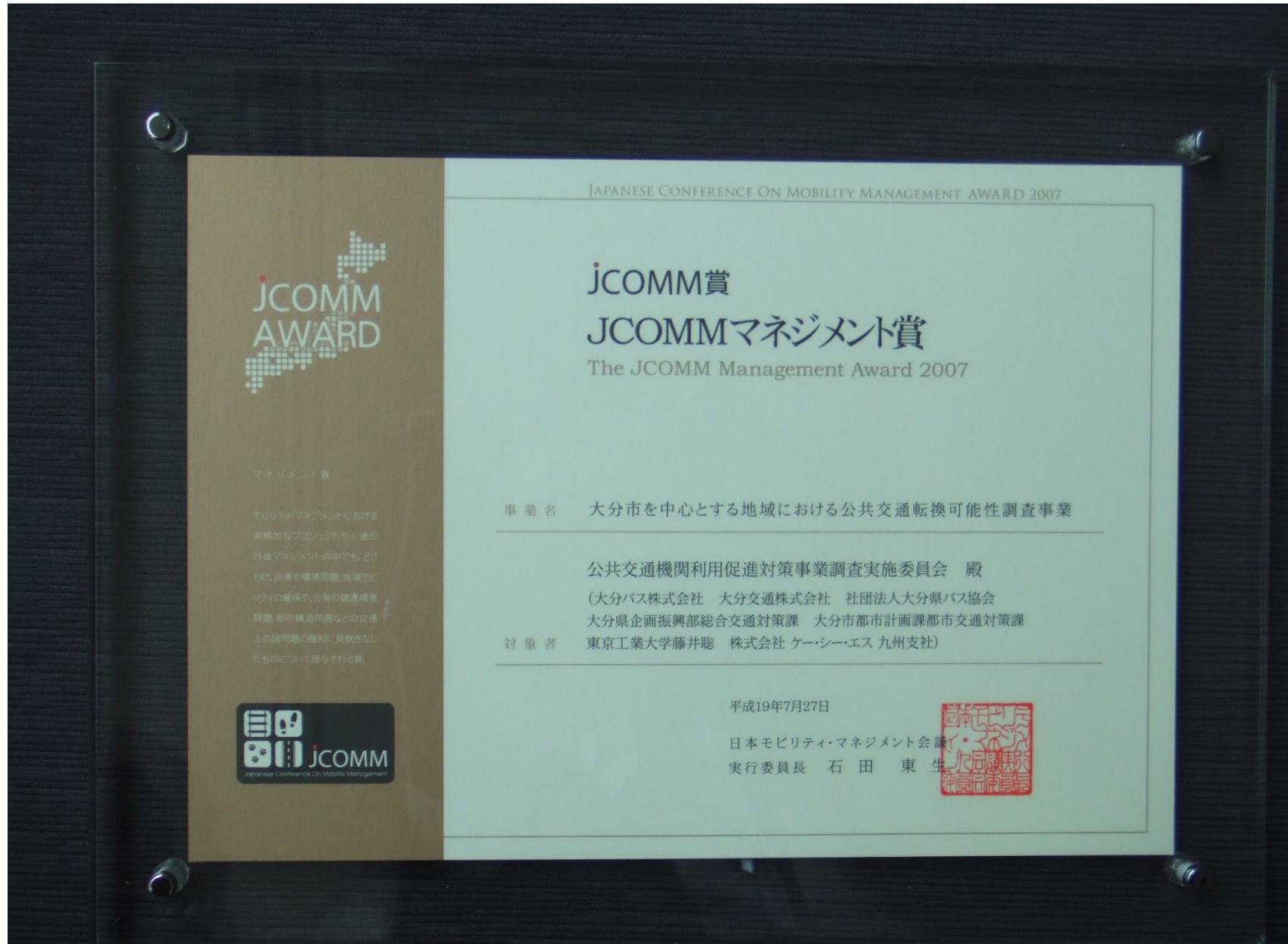
これを通じて、モビリティ・マネジメントの「実務発展」と「技術発展」を期待する。』

JCOMM賞の意義としては、

- ①各地域で、JCOMM賞受賞に向けて、「関係者が知恵を絞る」、「関係者の輪を広げる」。
- ②JCOMM賞を受賞することで、「担当者の努力が報われる」、「今後の事業の改善や継続のモチベーションが向上する」。
- ③他地域、他の関係者の「成功物語のイメージづくり」をサポートする。

当時の様子を振り返り、裏話も含めた本音から、
今後のMMの「継続」・「発展」・「効果を上げる」の
ポイントを考える。

JCOMM賞の賞状デザイン



「JCOMM賞の制度の立ち上げ」

「JCOMM賞を応募・推薦した動機」

「JCOMM賞を受賞して得られたもの」

「受賞プロジェクトにおける “マネジメント”の成功と失敗とポイント」